
戦場の狼と元魔王の世界冒険記

風猫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

戦場の狼と元魔王の世界冒険記

【コード】

N5191P

【作者名】

風猫

【あらすじ】

この作品は主人公& a m p ;ヒロイン最強系です。
王道かな…？

？主人公は時々非道で残酷でヘタレです処女作です。基本設定などはほぼ後付けで、作者の好み100%とノリで書いていきます。生暖かい目で作者の雑な文章に付き合ってくださいると大変嬉しいです
頑張るのでよろしくお願いしますm()m

プロローグって必要かな？

俺ことゼロ・ルシファーは何時もどつりに負け戦に参加して

、何時もどつり防具や武器を戦争に行く勇気の無いハイエナが来る前に大体全部かつさらって、おい今誰だお前も同じじゃんて言っただつちよつと来い。俺はちゃんと戦争に参加してる

そう！！！そこまでは何時もどつりだつたんだ！あいつを拾わなければ良かった！

ん！何の事だつて？

それじゃあ回想にいつてみよう

〈回想〉

「あんたダバコ持つてたよな。うん持つてたもらうぞ」

返事は聞かない、いや言えないだつて生きてないもん

「うげえ！血の味がする」

一瞬捨てようかと考えたが勿体無いのですてない

「さて、回収作業でもするか」

彼は地面に落ちてる剣を拾い死体から鎧を剥ぎ取る。剣を地面に軽く突き刺し、鎧をちよつと離れた場所に置く

「来い。この戦場にある武器と防具よ！！」

すると、四方八方から刀や剣は突き刺した剣の所へ、鎧は鎧のとこるへ飛んで行き次々へとまとまっっていく

「ふう！大量大量。」

お次は武器よ防具よひとまとまりになり浮き俺の後について来い！
さて作業も完了したし隠しといた馬車へ向かうか

〈馬車搜索中〉

「お、いたいた。いやあ良かったあ……？」

馬車の下を見てみると血の足跡が荷物入れに続いている

荷物入れの天井の幕をあげると…

「あなた誰？」

「このば…しゃの持ち主でござるか？」

「そ…そうだけどあなたは東方の出身の人だろ」

リアル侍初めて見たぞ

「拙者はもう長くは無い、この刀で拙者を切つて下さらぬか？」

「は…？何で」

「拙者は最後まで武士でいたい」

「ちっ…わかつたよ刀かせ」

刀をひつたくる

「ありがたい」

「何故この刀で自分を切らない」

「ああ、その刀は人を選ぶ…拙者も最初は抜けていたのだが…今は抜けてなくてな」

「俺が抜けなかったら？」

「拙者は信じておるお主なら抜けると」

「ハア…、かつてに信じんなよ」

わかつた、いくぞ。最後にいいのこす事は？」

「その刀の名前は覇玉大事に使つて下され」

「わかつた」

ズバツ

抜き一閃

ポトツ

ふう〜、さっきの武士を供養して、防具を剥ぎ取り これ大事全て

の武器防具を馬車に詰め込み馬にまたがった

「ここからじゃバグルサ王国が近いか…よしいくか」

馬車をひき出発した

「なんかいいこと有りそう」

「この予想は直ぐに変わる最悪の方向へと…」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5191p/>

戦場の狼と元魔王の世界冒険記

2010年12月16日00時32分発行